

## 貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	9,426,884	(流動負債)	8,326,844
現金預金	578,536	工事未払金	3,933,306
完成工事未収入金	683,238	未払金	437,239
未成工事支出金	359,402	未払費用	445,227
販売用土地	15,310	未払法人税等	171,431
販売用建物	32,778	未払消費税	102,493
原材料及び貯蔵品	1,414	未成工事受入金	2,733,510
前渡金	3,095	預り金	48,517
関係会社預け金	7,629,314	賞与引当金	431,026
前払費用	41,510	完成工事補償引当金	16,344
未収入金	82,631	工事損失引当金	7,748
その他	709		
貸倒引当金	△ 1,058	(固定負債)	1,130,011
		退職給付引当金	697,694
		長期預り金	430,317
(固定資産)	1,400,407	資産除去債務	2,000
有形固定資産	59,151	負債合計	9,456,855
建物	49,273	純資産の部	
構築物	1,812	株主資本	1,370,436
工具器具備品	8,064	資本金	40,000
無形固定資産	0	利益剰余金	1,330,436
ソフトウェア	0	利益準備金	15,558
投資その他の資産	1,341,256	繰越利益剰余金	1,314,878
破産更生債権等	1,800	(うち当期純利益)	(371,330)
前払年金費用	1,065,299		
長期預け金	151,997	純資産合計	1,370,436
繰延税金資産	123,059	負債・純資産合計	10,827,292
貸倒引当金	△ 900		
資産合計	10,827,292		

※記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

### 個別注記表

#### 重要な会計方針

##### 1. 有価証券の評価の方法

満期保有目的の債券……………償却原価法（定額法）

その他有価証券

時価のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの……………移動平均法による原価法

##### 2. 棚卸資産の評価の方法

未成工事支出金、販売用建物・土地……………個別法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。）

原材料、貯蔵品……………総平均法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。）

3. 固定資産の減価償却方法  
 (1)有形固定資産……………定額法  
 (2)無形固定資産……………定額法
4. 引当金の計上基準  
 (1)貸倒引当金……………売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。  
 (2)賞与引当金……………従業員賞与の支給に備えるため、翌事業年度支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。  
 (3)完成工事補償引当金… 請負にかかる瑕疵担保責任に基づく補償費の支出に備えるため、保証責任が伴う完成工事高に過去の実績率を乗じた額と特定の物件について補償費用の個別見積額を計上しております。  
 (4)退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。  
 (5)工事損失引当金……………受注工事に係る損失に備えるため、未引渡工事のうち当事業年度末において損失の発生が見込まれるものについて、当該損失見込額を計上しております。
5. 収益及び費用の計上の方法  
 完成工事高及び完成工事原価  
 工期のごく短いもの等については工事完成基準を適用し、その他の工事で当事業年度末までの進捗部  
 について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積は原価比例法）  
 を適用しております。
6. 消費税等の会計処理  
 税抜方式によっており、控除対象外消費税等は発生事業年度の費用として処理しております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額		137,318 千円
2. 関係会社に対する	短期金銭債権	7,633,045 千円
	長期金銭債権	- 千円
	短期金銭債務	185,093 千円
	長期金銭債務	- 千円